



今年で10回目を迎える「本牧ライトアッププロジェクト」をご紹介します！



つながる本牧
つなげる未来へ



ライトアップ技術指導・ロゴ・マーク作成
石渡 文さん



本牧の街が願いで光る3日間

本牧4南元気なまち運営委員会、本牧・根岸地区まちづくりの会、新本牧地区元気づくり推進協議会が力を合わせて実行委員会を立ち上げ、地域みんなでお馬流しを照らそうという想いから始まり、作り上げてきたイベントです。ペットボトルとLEDライトを使った手作りライトには、子どもから高齢者まで、参加者それぞれの願いがこめられています。8月1日～3日、本牧の街はたくさんの願いの光で優しく照らされ、願いと伝統が交わる、特別な3日間でした。

この活動には、キッズクラブ・小中学校・区民利用施設・障がい者施設・郵便局・警察・幼稚園・保育園・企業などたくさんの人々が関わって、手作りライトを作成・ライトアップをしています。

「協議会の枠を超えた活動が成功しているポイントは、
お互いの顔が見える関係でプロジェクトを維持し、絆を強めているからです」(実行委員)

ペットボトルライト制作
@間門小学校・放課後キッズクラブ

7月2日は、Y.S.C.C.の選手とふれあいの日で一緒にダンスを踊ったり、レクをした後にペットボトルライトの作成をしました。毎月一回の選手訪問の日はいつも以上に参加者が多く、子どもたちはとても楽しみにしているそうです。

今年もライトアッププロジェクトには小学校のキッズクラブ(4か所)幼稚園(2か所)保育園(4か所)の子どもたちが参加しました。



Y.S.C.C. とは

(横浜スポーツ＆カルチャークラブ)…横浜市中区を中心とした地域密着型のサッカークラブです。



クラブ理念である「地域はファミリー」を体現するため、選手・スタッフは小学校訪問など地域活動を通して、地域の方々との繋がりを大切に活動を行っています。

「何年もやっていると、飾っているところに通りかかった方から“今年もその時期が来たわね”と声をかけていただることもあり、じわじわと嬉しさをかみしめる瞬間があります。」(キッズクラブ 加藤主任)

キッズクラブでの、子どもたちの笑顔といきいきした姿がとても印象的でした。取材でお話を聞いている際には実行委員の方と加藤さんの地域への愛着・あたたかい想いを強く感じました。(M・T)



Lale バックナンバーは
こちらから ⇒⇒